

第1回総合教育会議（7/30）を経て、ポータルサイトによる情報発信や通信環境の強化、必要端末の配備など教育環境の整備が着々と進んでいる状況である。
1人1台端末の教育環境における子どもたちの学びをさらに保障するために、学校現場でのICT支援員の継続的な活用や持続可能な学校支援体制の構築を目指す。

学校のICT利用状況

令和2年度

- 別室登校した児童生徒と教室をつないだ遠隔教育の実証研究（4月）
- 学習用端末利用開始（1月）小4～中3

令和3年度

- 静岡市GIGAポータルサイト開設（8月）
- ICT支援員派遣（8月）
- ローカルブレイクアウト（9月）

活用頻度の増加

活用の高度化

令和4年度

- 学習用端末1人1台整備完了（9月）

稼働台数の増加

「静岡市GIGAポータルサイト」による情報発信

教職員への情報提供

- 教職員のICT活用力向上に向けた研修資料
- 静岡市内各校のICTを活用した授業実践例
- 各校のGIGAスクール構想推進に向けた取組
- ICT活用に関する情報
- 端末持ち帰り実証研究など

【学校現場の声】

- 各校の取り組みが分かり、これからの活用について良い刺激になっています。
- 校務支援端末からも見ることができるので、普段クロムブックを触らない先生でも確認できるのが良いです。

ICT支援員による学校支援開始

【授業支援】 授業計画の作成支援、ICT機器の準備、操作支援
 【環境整備】 メンテナンス、トラブル対応
 【校内研修】 研修の企画支援、実施支援

年間1,000回

【学校現場の声】

- ICT機器に抵抗のある教職員でも、助けがあると安心して取り組むことができます。
- 授業で活用したい先生だけでなく、その他の先生にもニーズに合わせた支援をいただいています。
- ICT支援員さんにご相談したいことが、たくさんあるため1ヶ月に1回程度ではなく、もっと頻繁に来ていただきたいです。
- 教材づくりの支援や操作の支援等、困ったときにすぐに聞くことができるようになったらいいです。

授業前（朝）	スケジュール確認	授業前の打合せ・準備	機器の確認・調整
授業中（授業4回/1日）	授業支援（教員・子ども）		トラブル対応
休み時間	次の授業の打合せ	教員の相談対応	機器の確認・調整
放課後（夕）	校内研修	次の授業の打合せ	教員の相談対応
			機器メンテナンス

通信環境強化

インターネット通信混雑解消に向けた工事を実施

端末からのアクセスを分散化するため、9月末からネットワーク工事を実施。学校からインターネットにつなぐ回線数を増やすことで、ネットワーク環境を強化。

全学年で運用開始

全学年分の端末整備

- 令和3年度12月 小学3年生及び学級数の指導者用端末を整備
- 令和4年度夏季休業前後 小学1・2年生及び学級数以外の正規教員数の端末を整備

整備総数	48,397台
（児童生徒用）	45,751台
（教員用）	2,646台

※ 令和3年度 緊急事態宣言を受けた学びの保障

学習用端末の持ち帰り

8月 コロナの影響で登校できない児童生徒の端末持ち帰り開始
 9月 家庭のインターネット環境に関する調査を実施
 10月 学習用端末持ち帰り開始

【実施の条件】

- ①端末持ち帰りのルールを作成
- ②情報モラルについての指導
- ③保護者への丁寧な説明と同意
- ④Wi-Fi環境がない家庭への対応

オンライン授業

9月 オンライン授業実証実験

- 情報教育推進委員による先行研究
- オンライン授業の手引き作成

11月 各校でオンライン授業実施

- 各校最低1学級で学校と家庭とを結んだオンライン授業を実践
- 自宅にWi-Fi環境がない場合は、学校で参加するなどして対応

【オンライン授業の様子】

★ 静岡市GIGAスクール運用支援センター（仮称）

支援ニーズ 活用の高度化

支援継続を要望する声

ICT支援員	SE	ヘルプデスク
<p>令和4年度 計2,000回へ拡大</p> <p>全ての教員への授業支援を倍増</p> <p>⇒ICT機器を効果的に使った授業づくりをめざす。</p>	<p>【業務内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> Googleアカウント変更（卒業、入学、人事異動、転出入） FAQサイトの運用 GIGA端末移設分 エンロール作業 GIGA端末不具合対応 メーカー修理手順作成 メーカー修理の管理 Chromebook設定支援 ICT支援員との打合せなど 	<p>サポート対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員からの問い合わせに対応 休日、緊急時の故障等のトラブル対応 <p>⇒学校での使用におけるサポートに加え、端末持ち帰り時も含めた日常的な支援</p>

「静岡市ならではのICT教育」

子ども一人ひとりの学習状況に応じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現

- 小学1年生から発達段階に応じてICTを活用した授業が活発に行われる
- 静岡型小中一貫教育の開始で、小中学生の交流やしずおか学による外部人材との授業など、オンラインの活用が進む
- 授業を受け持つ教員への端末配備が完了することからICT活用の研究が更に加速・充実する
- 持ち帰りやオンライン授業が日常におこなわれるようになる
- 特別な支援を要する子どもや別室登校、不登校など困難を抱える子どもへのICTを活用した授業や支援が充実する